

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【公開番号】特開2019-177171(P2019-177171A)

【公開日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-042

【出願番号】特願2019-109138(P2019-109138)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月7日(2020.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な始動口と、  
識別情報を表示可能な識別情報表示部と、  
演出を表示可能な演出表示部と、  
遊技の進行を制御する主遊技部と、  
演出の表示制御を司る副遊技部と  
を備え、  
主遊技部は、  
始動口への入球に基づき、乱数を取得する乱数取得手段と、  
乱数取得手段により乱数が取得された場合、当否判定許可条件を充足するまで当該取得された乱数を保留として一時記憶する乱数一時記憶手段と、  
当否判定許可条件を充足した場合、前記乱数に基づき当否判定を実行する当否判定手段と、

当否判定手段による当否判定の結果に基づき、識別情報の停止識別情報を決定する識別情報表示内容決定手段と、

識別情報表示内容決定手段による決定に基づき、識別情報表示部にて識別情報を変動表示した後、識別情報の停止識別情報を停止表示するよう制御する識別情報表示制御手段と、

当否判定手段による当否判定の結果が当選であって識別情報が停止表示された後において、遊技者にとって有利な特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

副遊技部側で実行される演出表示に際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信する遊技情報送信手段と

を備え、

副遊技部は、

主遊技部側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段と、  
遊技情報受信手段により受信された遊技情報に基づき、演出表示部にて表示され得る演出表示内容を制御する演出表示制御手段と  
を備え、  
先読み演出の実行条件を充足する特定保留が存在している場合、特定保留の存在に基づ

く演出である先読み演出を実行可能であり、

先読み演出の種類を複数種類有し、

複数種類の先読み演出のうちの所定の種類の先読み演出の実行中は、当該所定の種類の先読み演出と同種の先読み演出は実行されず、

前記所定の種類の先読み演出は、前記所定の種類とは異なる種類の先読み演出である特定の種類の先読み演出と同時に実行可能であり、

複数種類の先読み演出のうちの或る種類の先読み演出が実行されることで、実行予定である演出内容が事前に示唆又は報知され、

先読み演出の実行条件を充足する保留である特定保留が存在しており、特定保留より先に当否判定許可条件を充足する保留である先保留として第1の先保留と第1の先保留よりも後に当否判定許可条件を充足する第2の先保留とが存在している場合において、第2の先保留に関する当否判定許可条件を充足したことに対応する識別情報の変動表示が行われる際に実行される或る種類の先読み演出によって実行予定であることを事前に示唆又は報知される演出内容に係る特別遊技実行期待度は、第1の先保留に関する当否判定許可条件を充足したことに対応する識別情報の変動表示が行われる際に実行され且つ第2の先保留に関する当否判定許可条件を充足したことに対応する識別情報の変動表示が行われる際に実行される当該或る種類の先読み演出とは表示態様が異なる当該或る種類の先読み演出によって実行予定であることを事前に示唆又は報知される演出内容に係る特別遊技実行期待度よりも高いものとなり得るよう構成されており、

特別遊技の実行中において残存する保留のうち、将来的な前記当否判定の結果が当選となる予定である当選予定保留が存在している場合、当選予定保留に関する当否判定許可条件を充足したことに対応する識別情報の変動表示中において実行予定である演出内容を事前に示唆又は報知する特殊先読み演出を当該特別遊技の実行中において発生可能であり、

通常遊技状態にて前記当否判定の結果が当選となり識別情報が停止表示されて実行された特別遊技の実行中においては、前記特殊先読み演出を発生させない一方で、

特定遊技状態にて前記当否判定の結果が当選となり識別情報が停止表示されて実行された特別遊技の実行中においては、前記特殊先読み演出を発生させ得るよう構成されており、

特別遊技の非実行中において先読み演出の実行条件を充足する特定保留が存在している場合、特別遊技の非実行中において特定保留の存在に基づく演出である先読み演出を実行可能であり、

先読み演出の種類として、前記特殊先読み演出とは異なる種類の先読み演出Aと、前記特殊先読み演出とも先読み演出Aとも異なる種類の先読み演出Bとを少なくとも有しており、

識別情報の変動表示に対応してリーチ状態の成立後における所定の演出が表示されている状況にて特定保留が生起した場合、当該状況では先読み演出Aを実行開始せず、

特定保留に関する保留情報として、保留情報Aと保留情報Bとを少なくとも有し、

先読み演出Aは、特定保留に関する保留情報が保留情報Aである場合でも保留情報Bである場合でも実行可能である一方で、先読み演出Bは、特定保留に関する保留情報が保留情報Bである場合には実行可能であるが保留情報Aである場合には実行不可能であり、

先読み演出Aの表示態様は複数種類あり、先読み演出Aを実行するときには、特定保留に関する保留情報が保留情報Aであるか保留情報Bであるかに応じて、先読み演出Aの表示態様の選択傾向が異なるよう構成されており、

或る識別情報の変動表示中に先読み演出Aも先読み演出Bも実行開始される場合もあれば、或る識別情報の変動表示中に先読み演出Aが実行開始され別の識別情報の変動表示中に先読み演出Bが実行開始される場合もあり、

識別情報の変動表示中に特定保留が生起したことを契機として、当該識別情報の変動表示中に先読み演出Aを実行開始可能であり、

識別情報の変動表示中に特定保留が生起したにもかかわらず当該識別情報の変動表示中に先読み演出Aを実行開始せずとも、当該識別情報の変動表示の次回以降の識別情報の変

動表示にて先読み演出 A を実行開始可能であり、

或る識別情報の変動表示中に特定保留が生起した場合、当該或る識別情報の変動表示中に先読み演出 A を実行開始する割合と、当該或る識別情報の変動表示中に先読み演出 A を実行開始せずに次回以降の識別情報の変動表示にて先読み演出 A を実行開始する割合とが異なるよう構成されている

ことを特徴とするぱちんこ遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係るぱちんこ遊技機は、  
遊技球が入球可能な始動口と、  
識別情報を表示可能な識別情報表示部と、  
演出を表示可能な演出表示部と、  
遊技の進行を制御する主遊技部と、  
演出の表示制御を司る副遊技部と

を備え、

主遊技部は、

始動口への入球に基づき、乱数を取得する乱数取得手段と、  
乱数取得手段により乱数が取得された場合、当否判定許可条件を充足するまで当該取得された乱数を保留として一時記憶する乱数一時記憶手段と、

当否判定許可条件を充足した場合、前記乱数に基づき当否判定を実行する当否判定手段と、

当否判定手段による当否判定の結果に基づき、識別情報の停止識別情報を決定する識別情報表示内容決定手段と、

識別情報表示内容決定手段による決定に基づき、識別情報表示部にて識別情報を変動表示した後、識別情報の停止識別情報を停止表示するよう制御する識別情報表示制御手段と、

当否判定手段による当否判定の結果が当選であって識別情報が停止表示された後において、遊技者にとって有利な特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

副遊技部側で実行される演出表示に際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信する遊技情報送信手段と

を備え、

副遊技部は、

主遊技部側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段と、  
遊技情報受信手段により受信された遊技情報に基づき、演出表示部にて表示され得る演出表示内容を制御する演出表示制御手段と  
を備え、

先読み演出の実行条件を充足する特定保留が存在している場合、特定保留の存在に基づく演出である先読み演出を実行可能であり、

先読み演出の種類を複数種類有し、

複数種類の先読み演出のうちの所定の種類の先読み演出の実行中は、当該所定の種類の先読み演出と同種の先読み演出は実行されず、

前記所定の種類の先読み演出は、前記所定の種類とは異なる種類の先読み演出である特定の種類の先読み演出と同時に実行可能であり、

複数種類の先読み演出のうちの或る種類の先読み演出が実行されることで、実行予定である演出内容が事前に示唆又は報知され、

先読み演出の実行条件を充足する保留である特定保留が存在しており、特定保留より先

に当否判定許可条件を充足する保留である先保留として第1の先保留と第1の先保留よりも後に当否判定許可条件を充足する第2の先保留とが存在している場合において、第2の先保留に関する当否判定許可条件を充足したことに対応する識別情報の変動表示が行われる際に実行される或る種類の先読み演出によって実行予定であることを事前に示唆又は報知される演出内容に係る特別遊技実行期待度は、第1の先保留に関する当否判定許可条件を充足したことに対応する識別情報の変動表示が行われる際に実行され且つ第2の先保留に関する当否判定許可条件を充足したことに対応する識別情報の変動表示が行われる際に実行される当該或る種類の先読み演出とは表示態様が異なる当該或る種類の先読み演出によって実行予定であることを事前に示唆又は報知される演出内容に係る特別遊技実行期待度よりも高いものとなり得るよう構成されており、

特別遊技の実行中において残存する保留のうち、将来的な前記当否判定の結果が当選となる予定である当選予定保留が存在している場合、当選予定保留に関する当否判定許可条件を充足したことに対応する識別情報の変動表示中において実行予定である演出内容を事前に示唆又は報知する特殊先読み演出を当該特別遊技の実行中において発生可能であり、

通常遊技状態にて前記当否判定の結果が当選となり識別情報が停止表示されて実行された特別遊技の実行中においては、前記特殊先読み演出を発生させない一方で、

特定遊技状態にて前記当否判定の結果が当選となり識別情報が停止表示されて実行された特別遊技の実行中においては、前記特殊先読み演出を発生させ得るよう構成されており、

特別遊技の非実行中において先読み演出の実行条件を充足する特定保留が存在している場合、特別遊技の非実行中において特定保留の存在に基づく演出である先読み演出を実行可能であり、

先読み演出の種類として、前記特殊先読み演出とは異なる種類の先読み演出Aと、前記特殊先読み演出とも先読み演出Aとも異なる種類の先読み演出Bとを少なくとも有しております、

識別情報の変動表示に対応してリーチ状態の成立後における所定の演出が表示されている状況にて特定保留が生起した場合、当該状況では先読み演出Aを実行開始せず、

特定保留に関する保留情報として、保留情報Aと保留情報Bとを少なくとも有し、

先読み演出Aは、特定保留に関する保留情報が保留情報Aである場合でも保留情報Bである場合でも実行可能である一方で、先読み演出Bは、特定保留に関する保留情報が保留情報Bである場合には実行可能であるが保留情報Aである場合には実行不可能であり、

先読み演出Aの表示態様は複数種類あり、先読み演出Aを実行するときには、特定保留に関する保留情報が保留情報Aであるか保留情報Bであるかに応じて、先読み演出Aの表示態様の選択傾向が異なるよう構成されており、

或る識別情報の変動表示中に先読み演出Aも先読み演出Bも実行開始される場合もあれば、或る識別情報の変動表示中に先読み演出Aが実行開始され別の識別情報の変動表示中に先読み演出Bが実行開始される場合もあり、

識別情報の変動表示中に特定保留が生起したことを契機として、当該識別情報の変動表示中に先読み演出Aを実行開始可能であり、

識別情報の変動表示中に特定保留が生起したにもかかわらず当該識別情報の変動表示中に先読み演出Aを実行開始せずとも、当該識別情報の変動表示の次回以降の識別情報の変動表示にて先読み演出Aを実行開始可能であり、

或る識別情報の変動表示中に特定保留が生起した場合、当該或る識別情報の変動表示中に先読み演出Aを実行開始する割合と、当該或る識別情報の変動表示中に先読み演出Aを実行開始せずに次回以降の識別情報の変動表示にて先読み演出Aを実行開始する割合とが異なるよう構成されている

ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。